

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会学校教育部 学校教育推進室 平成30年6月5日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

平成30年度 東大阪市の学力向上の取組み

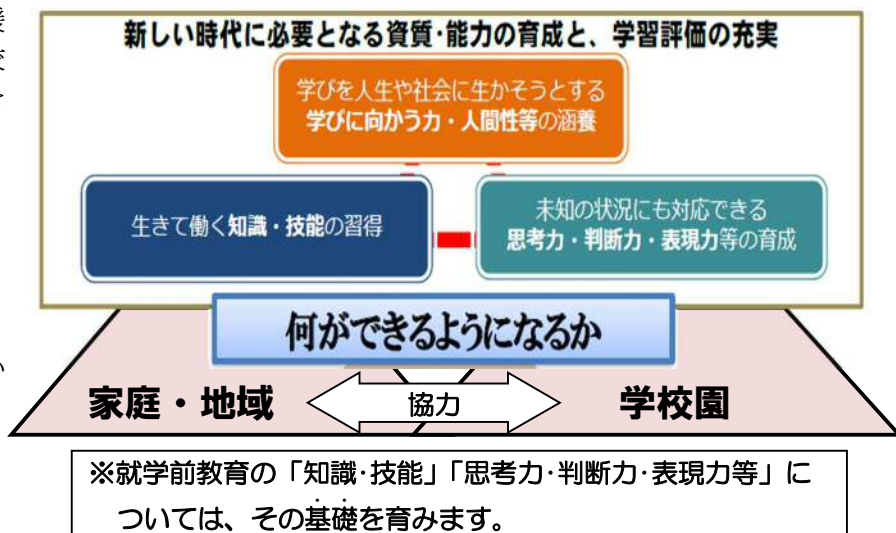
東大阪市では、全国学力・学習状況調査や東大阪市標準学力調査をはじめ、さまざまな調査を実施し、児童生徒の学力・学習状況の把握に努めています。その結果から明らかとなった課題に対応するため、平成21年度より全小中学校に学力向上支援コーディネーターを位置づけ、学校総体として組織的な学力向上に取り組んできました。

本年度は、小中学校ともに、新学習指導要領の移行期間が始まった年であり、また、東大阪市としては、次年度より全中学校区で本格実施となる小中一貫教育に向けて、学力向上等の取組みをさらに推進していく年でもあります。

特に、小中学校に共通した学力向上の視点として、下に示したように「育成をめざす3つの資質・能力」を意識し、各校の学力向上支援コーディネーターを中心として、校区一体となった学力向上の取組みを一層推進していきます。

また、学期ごとに学力向上の取組状況の確認を行い、短い期間でのPDCAサイクルを行うことで、今後に向けた取組みの検証・改善を継続的に図っていきます。

学力向上については、規則正しい生活習慣・家庭学習習慣が影響することから、「学びの環境づくり」に、学校園と家庭で協力し共に取り組みましょう！



学力向上支援コーディネーター連絡協議会を開催<5月1日(火)>

組織的な学力向上推進の中核を担う小・中学校の学力向上支援コーディネーターに、その役割と今年度の方向性について確認しました。

子どもたちの課題「**確かなことばの基礎力**」に正対するため、はじめに、①「**児童生徒の記述力向上に向けて**」②「**校内研究授業のあり方**」③「**「ことばのちから」ワークシートの活用**」の3点について、全体で共有しました。

最後に、各中学校区で取組みの現状等について交流を行い、今後、各校で学力向上の取組みを進めていく上で参考となる有意義な協議会になりました。



コーディネーターとしての役割を知ることができた。小中一貫もあり、学力向上担当だけでなく他の校務分掌の先生方とも連携して、一人ではなく学校全体を巻き込んでいきたい。

一番印象に残ったことは、学力向上委員会を活性化させるということ。「少しずつ」「みんなで」「やってみる」をキーワードに、今後に向けて、確実に歩みを進めていきたい。

「ことばのちから」ワークシートは、全職員に紹介して活用方法を部会や学年会等で検討していきたい。学校間交流では、他校の学力向上に向けた取組みを共有できて有意義だった。

参加者の感想

6月は「子どもの安全確保推進月間」

6月8日は「学校の安全確保・安全管理の日」

大阪府教育庁は毎年6月を「子どもの安全確保推進月間」、6月8日を「学校の安全確保・安全管理の日」と定め、安全に関する取組みの点検を行う日としています。

市立学校園では危機管理体制の点検を行い、子どもたちの危機予測・回避能力向上の取組みとして防犯教室や不審者対応訓練を実施し、園児・児童・生徒及び教職員の安全に対する意識の向上を図っています。



愛ガード協力員による見守り活動



不審者対応訓練の様子

本市では「地域の子どもは地域で守る！」「子どもたちの安全はみんなの力で！」を合言葉に、たくさんの愛ガード運動協力員の方のボランティア活動によって子どもたちの安全が支えられています。愛ガード運動には平成29年度12,127名の方に登録いただいております。

子どもたちが安心して元気に学校園生活を送れるよう、学校園・地域・家庭が一体となった安全確保の取組みをさらに推進してまいります。

熱中症に注意！予防の徹底を

熱中症は気温などの環境要因だけではなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高く、風が弱い日や、体が暑さに慣れていない時は注意が必要です。

○熱中症を引き起こす3つの要因

① 環境

気温が高い、日差しが強い、湿度が高い、急に暑くなった、無風・弱風、閉め切った屋内 など

② からだ

下痢や発熱などの体調不良、肥満、病後や寝不足、欠食などの体力低下、高齢者や乳幼児 など

③ 行動

激しい運動、慣れない運動、長時間の屋外および屋内運動、水分補給ができない状況 など

○予防のポイント

- ・部屋の温度をこまめにチェックし、室温が28℃を超えないようにする。
- ・のどが渇かなくてもこまめに水分補給をする。汗をかいた時は塩分も補給する。
- ・無理をせず、適度に休憩をとる。
- ・外出の際は、涼しい服装や帽子・日傘などの日よけ対策を行う。日陰を利用する。

○応急処置

- ・涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、体を冷やす。
- ・氷嚢などで首・脇の下・大腿の付け根などの太い血管部分を冷やす。
- ・飲めるようであれば、水分（大量に汗をかいている場合はスポーツドリンクや経口補水液、食塩水などがよい）をこまめにとらせる。
- ・意識障害や運動障害、水分がとれない、症状が改善しない場合は医療機関へ。